

# 在宅介護・地域包括支援センターの 評価について

# 地域包括支援センターの事業評価について

介護保険法の改正により、市町村及び地域包括支援センターは地域包括支援センターの業務について評価を行うとともに、機能強化に向けた必要な措置を講じなければならないとされた。

「地域包括支援センターは、介護予防ケアマネジメントや包括的支援事業等の実施を通じて、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的としており、今後、地域包括ケアシステムの構築を推進していく上で、その機能強化は重要な課題である。」

「地域包括支援センターが、その機能を適切に発揮していくためには、地域包括支援センターごとに業務の状況を明らかにし、それに基づいた必要な機能強化を図っていく必要がある。」

平成30年7月4日 付老振発0704第1号「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について(通知)」抜粋

# 国による評価指標の課題と本市の対応

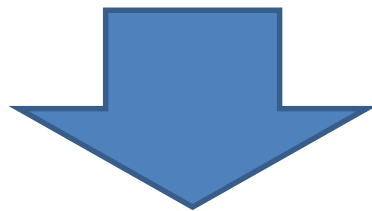
国の評価指標は全国統一のものであるため、この指標のみでは本市における施策の方向性や地域性等に応じた各センターの特性を把握しきれない。

## 課題 1

本市では小地域完結型の相談体制を整備する中で、市、基幹型地域包括支援センター、各在宅介護・地域包括支援センターが方針を共有化し、緊密に情報共有と連携を図っているため、国による評価指標ではセンターの評価結果が均一化し、差が生じない。

## 課題 2

担当地区の地域性やセンター独自の工夫などの状況が把握できず、評価を通した本市独自施策の方向性、優先度の意識付けも困難。



## 本市の対応

センター毎の課題を明らかにすると同時に、本市施策に応じたきめ細かい評価項目を設定する必要があることから、国の評価指標に本市独自の項目を加え、より詳細に各センターの活動実績を把握。

# 評価項目の追加と分類の分割、追加

- 本市単独事業や重点取組事項に関する項目を追加。
- 「事業間連携」として一括りにされていた分類を3つに分割。
- 「市単独事業及び重点取組項目」を追加。

## 国の分類

組織運営体制

総合相談支援

権利擁護

包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域ケア会議

介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

事業間連携

## 武蔵野市の分類

組織運営体制

総合相談支援

権利擁護

包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域ケア会議

介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

在宅医療・介護連携

認知症高齢者支援

生活支援体制整備

市単独事業及び重点取組項目

活動実績をよりきめ細かく把握し、評価する。

追加

## 追加した評価項目

- 国の「運営状況調査票①」に、本市単独事業や重点取組事項に関する項目を追加
- 計6項目について、31問を追加

### 総合相談支援

- ・サービス未利用者実態調査は完了しましたか。

### 権利擁護

- ・全ての虐待事案について、通報から事実確認まで48時間以内に対応していますか。

### 包括的・継続的ケアマネジメント支援

- ・地区別ケース検討会の開催目標数は達成できましたか。

### 認知症高齢者支援

- ・認知症サポーター養成講座の開催数は何回ですか。(数字記入)

### 生活支援体制整備

- ・生活支援コーディネーターによる地域資源立ち上げ回数は昨年度実績を超えていますか。

### 市単独事業及び重点取組項目

- ・いきいきサロンの新規開設目標数を達成しましたか。

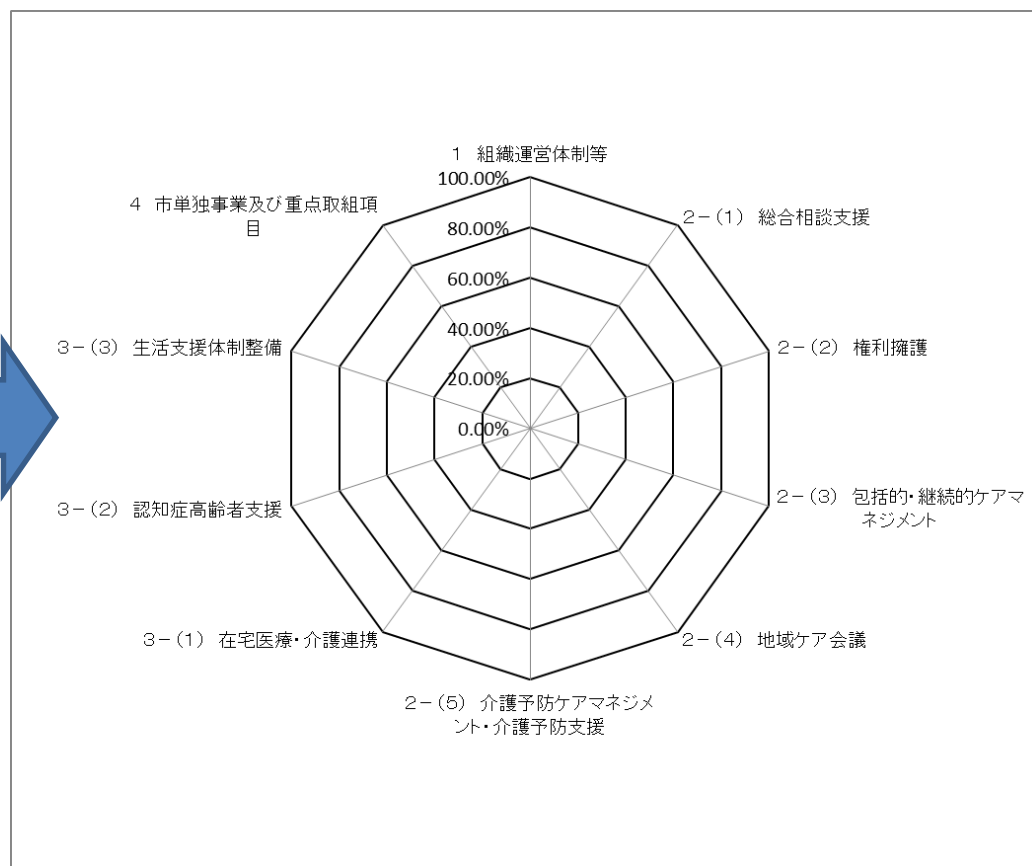
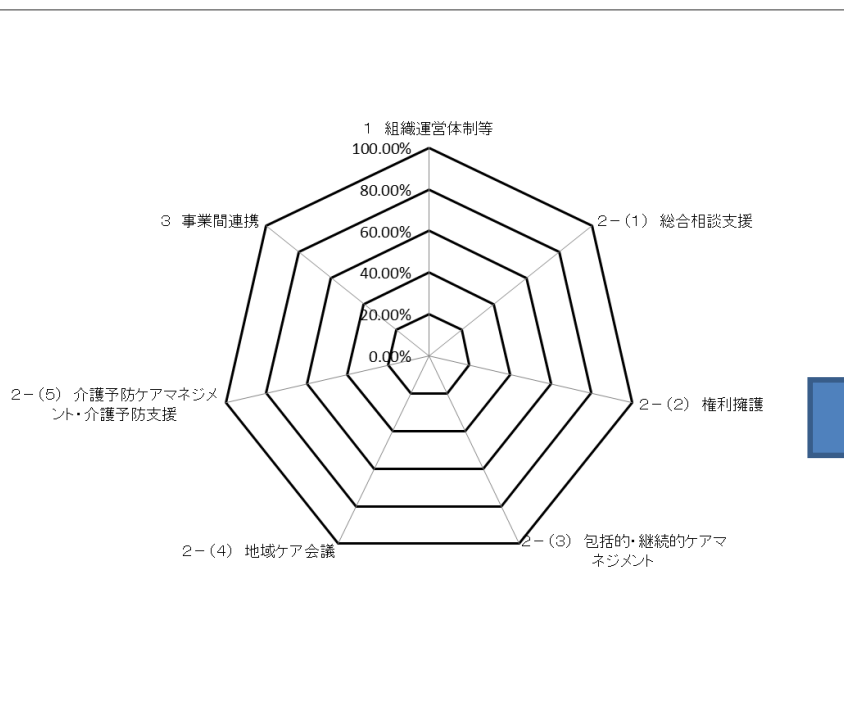
# レーダーチャートのイメージ

○評価結果はレーダーチャートで表示。

○分割、追加した分類により、レーダーチャートも7角形から10角形に細分化。

国のレーダーチャート  
(7角形)

武蔵野市のレーダーチャート  
(10角形)



# 平成30年度実績評価からの変更事項

○国の評価様式の変更点を反映

地域包括支援センターへの3職種（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）の配置について

変更前:「準ずる者」も含んだ配置状況を回答

変更後:「準ずる者」を除いた配置ができているか否かを回答

前年度中に対応した虐待事例の件数

変更前:延べ件数を回答

変更後:設問削除

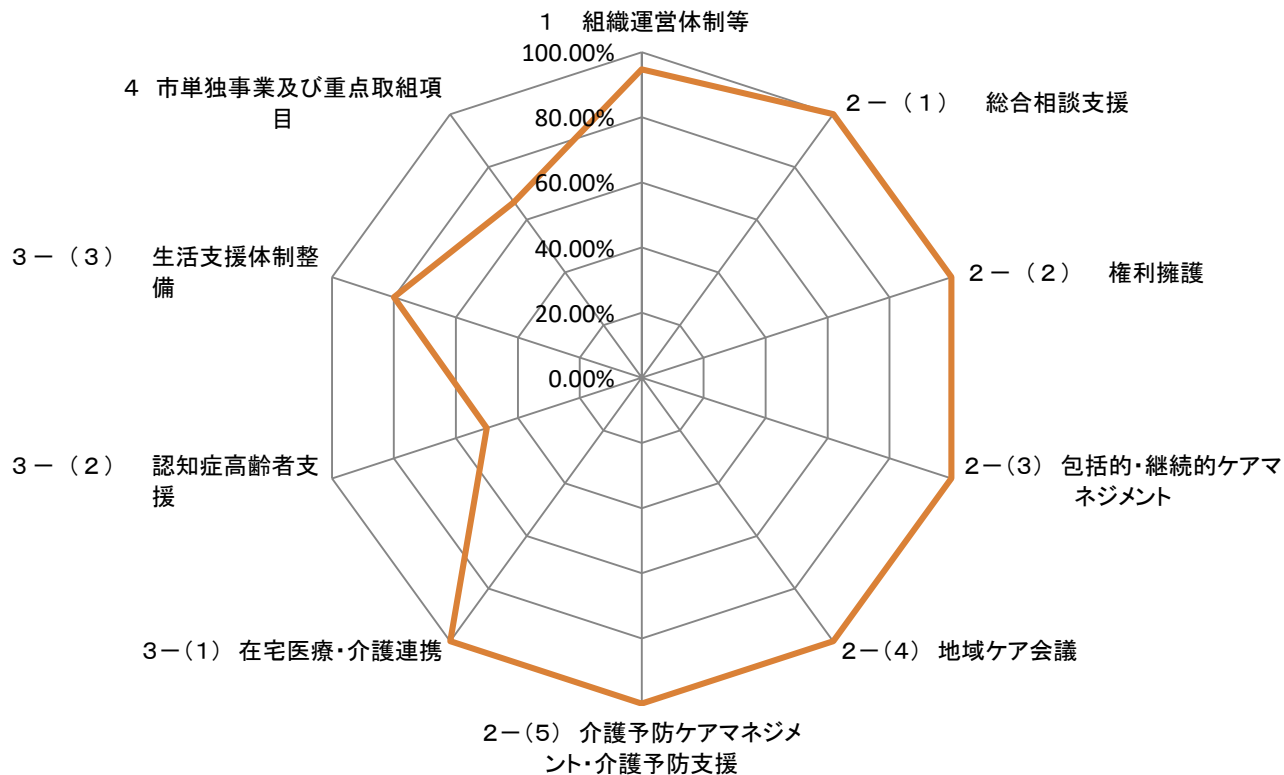
地域ケア会議での地域課題の検討状況

変更前:会議での地域課題検討の有無と、地域課題を検討した会議の開催回数を回答

変更後:地域課題検討プロセスの追記と地域ケア会議の機能の追記、会議の開催回数を回答

# ゆとりえ

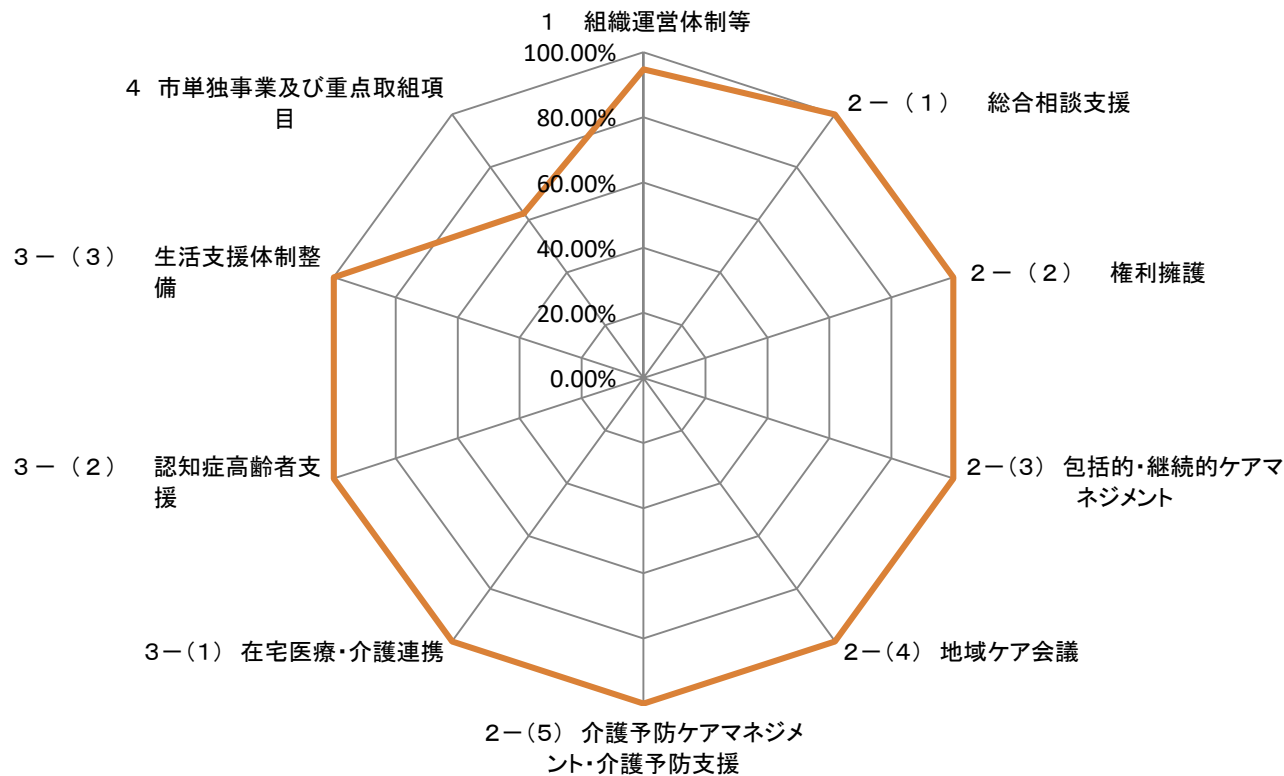
## 在宅介護・地域包括支援センター



- 地域との関わりや地域ニーズの把握が適切にできている点、地域との関わりを積極的に持とうとする意欲などを評価。
- 認知症本人と家族を支える重要な取組みである「カフェ♥君の名は」を地域住民と共催して継続。
- 3-(2)「認知症高齢者支援」が低いのは、認知症サポーター養成講座の開催回数不足と認知症対応に関する周知チラシの配布が無かったことによる。
- 4「市単独事業及び重点取組項目」については当初設定した数値目標を達成できなかったことによるが、アプローチは一定程度できており、未達成の理由分析と対応の検討を求める。

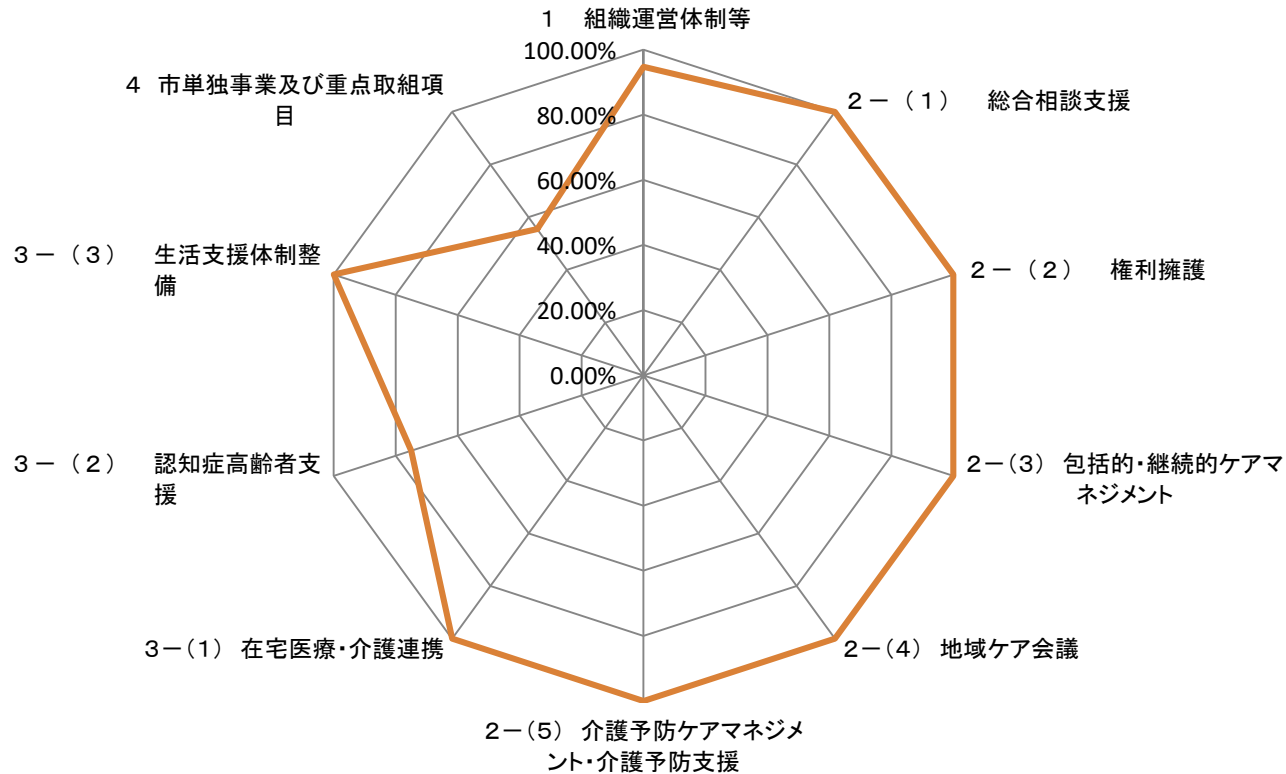


# 吉祥寺本町 在宅介護・地域包括支援センター



- 新たな集いの場として、男性が地域で活躍できる場づくりなどを行った点を評価。
- 地域へのきめ細かい支援や個別の対応が強み。自ら支援を実践することで医療機関との連携強化も図られている点を評価。
- 4「市単独事業及び重点取組項目」については当初設定した数値目標を達成できなかったことによるが、アプローチは一定程度できており、未達成の理由分析と引き続き積極的なアプローチを求める。

# 高齢者総合センター 在宅介護・地域包括支援センター

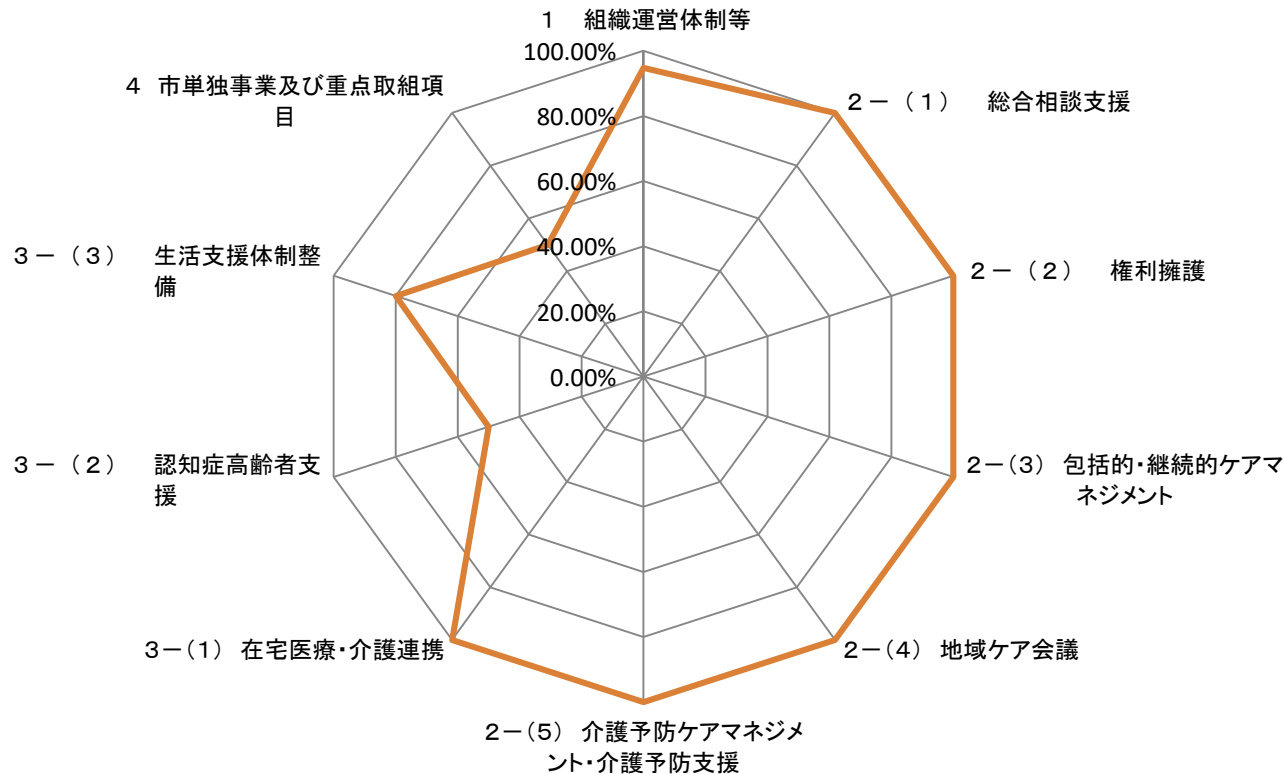


- 公営住宅や高齢者数が多く、処遇困難事例も多い中、担当地区の特性を把握し、それぞれの地域特性から見られる課題の分析と解決に向けた取り組みが検討できている点を評価。
- 業務改善にも取り組んでいるほか、職員間での課題の共有や振り返りの実施による個々の組織力向上への取り組みなども評価。
- 3-(2)「認知症高齢者支援」が低いのは、「認知症初期集中支援事業」の実績がなかったことによる。
- 4「市単独事業及び重点取組項目」については当初設定した数値目標を達成できなかったことによるが、いきいきサロンの立ち上げ、再立ち上げができた点は評価。

# 吉祥寺ナーシングホーム

## 在宅介護・地域包括支援センター

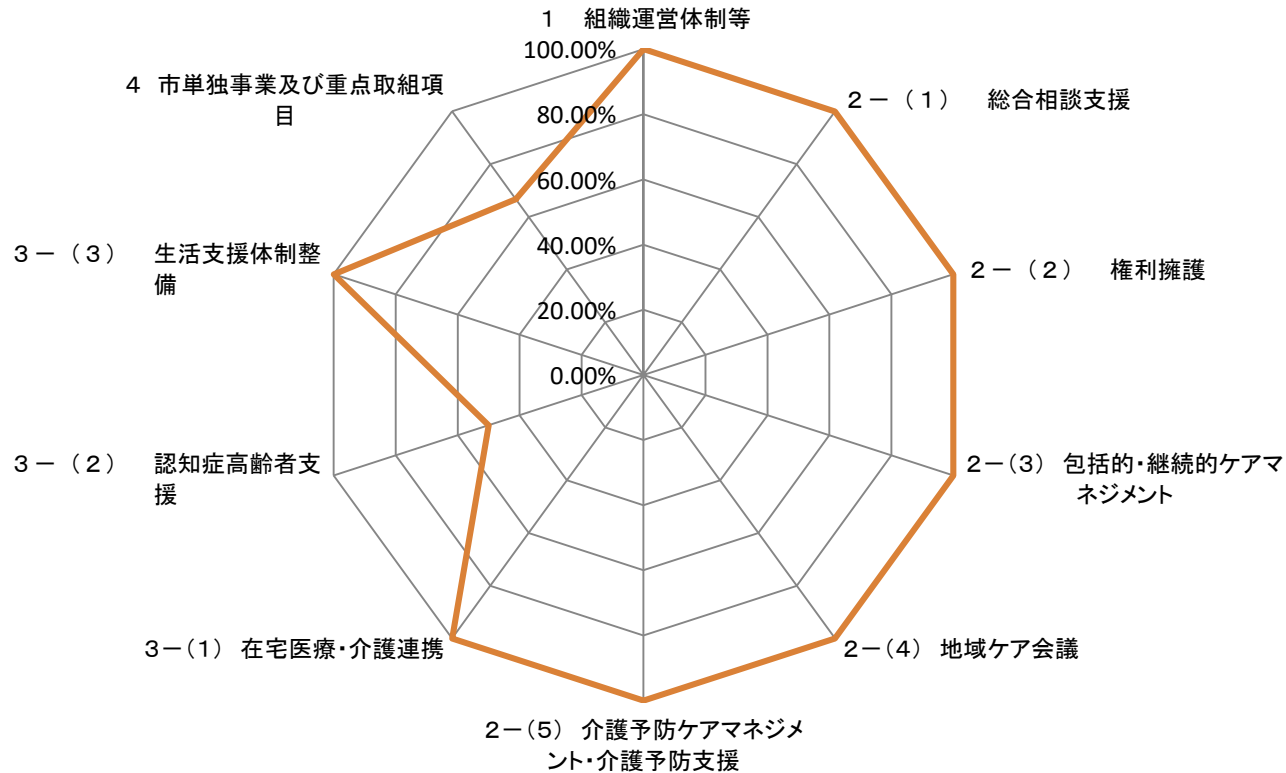
平成31年度 活動実績



- 職員の専門性を生かしセンター内で連携している点、地域ニーズ把握のため積極的に地域へ出向いている点を評価。
- 地域ケア会議を活用し、地域課題の抽出からいきいきサロンの立ち上げに繋げたプロセスを評価。
- 3-(2)「認知症高齢者支援」が低いのは、認知症サポーター養成講座の開催回数不足と認知症初期集中支援事業の実績が無かったことによる。
- 4「市単独事業及び重点取組項目」については当初設定した数値目標を達成できなかったことによる。市単独事業のモニタリングについては適正な実施を願いたい。

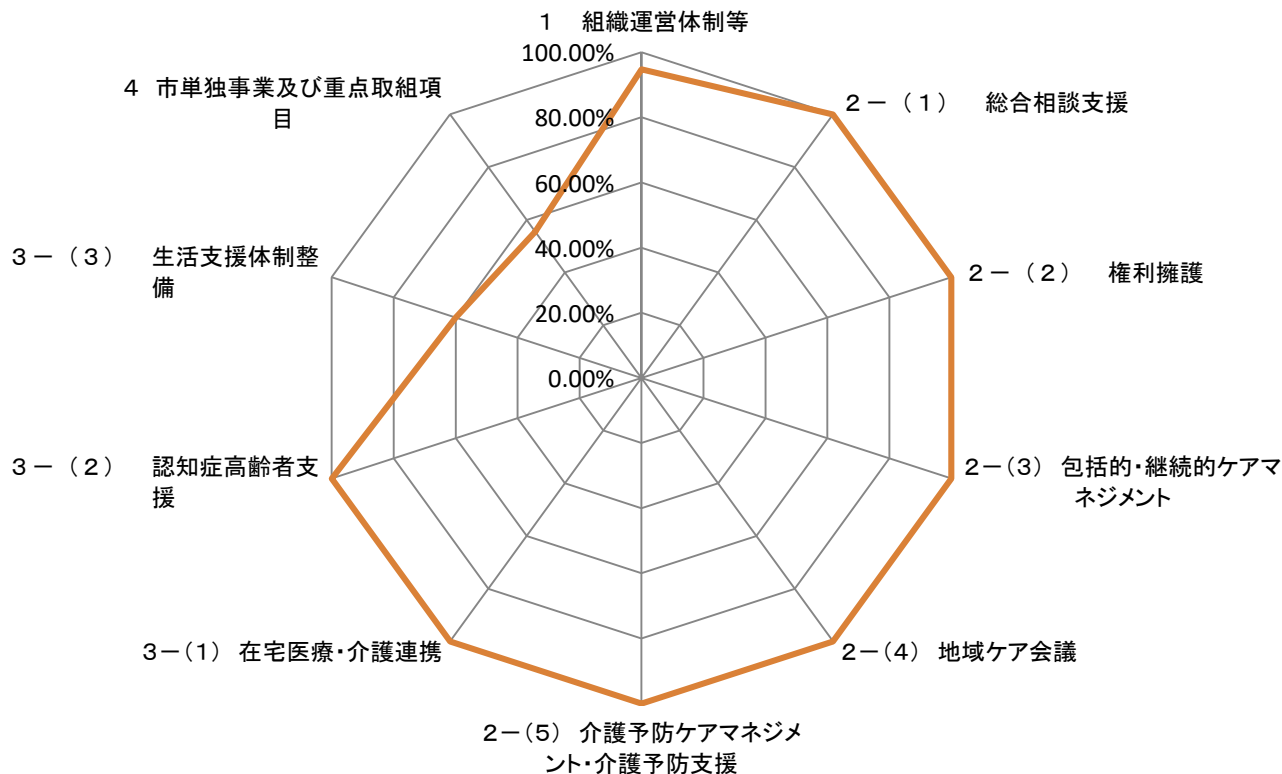
# 桜堤ケアハウス

## 在宅介護・地域包括支援センター



- 支援を要する高齢者が多く、緊急対応も多い中、幅広い取組みを行っている点を評価。
- 最も多くのいきいきサロンを擁する地域でありつつ、さらにサロンの立ち上げ促進ができていた点を評価。
- 3-(2)「認知症高齢者支援」が低いのは、認知症対応に関する周知チラシの配布が無かったことと、認知症初期集中支援事業の実績が無かったことによる。
- 4「市単独事業及び重点取組項目」については当初設定した数値目標を達成できなかったことによる。本人・家族のニーズとのマッチングが不調となった原因分析、課題解決提案を期待する。

# 武蔵野赤十字 在宅介護・地域包括支援センター



- 病院併設の強みを生かし早期からの入退院連携ができている点、子育て世代へのアプローチの試行、権利擁護に関するSV招聘・研修の取り組みなどを評価。
- 台帳整理やプロセスシートの作成など、情報共有方法の改善を評価。
- 3-(3)生活支援体制整備は、当初設定した数値目標を達成できなかったことによる。
- 4「市単独事業及び重点取組項目」については当初設定した数値目標を達成できなかったことによる。